

作成（2025 年度）

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	佐藤丈晴
所属機関名	生物地球学部 生物地球学科
職位	教授
在籍年	12 年

教育の責任

生物地球学科に所属し、防災・減災を中心とした教育・研究活動に従事している。

1・2 年次には、**100 名を超える学生を対象とした大人数講義**「生物地球概論Ⅰ」「防災気象学」を担当し、地震・豪雨・土砂災害など自然災害全般を扱うことで、**幅広い防災意識の涵養**を重視している。

3 年次以降は、「地学実習」「土地地質学」「測量・地理情報システム」などの**専門科目を開講**し、フィールドワークや GIS 解析を通じて、現場で活用できる実践的スキルの習得を促している。また、**学科全体の就職担当を 10 年間継続**して務め、企業や自治体との連携を通じた独自の就職支援体制を構築し、**関連業界からの信頼を獲得**している。

教育の理念

近年頻発する豪雨や土砂災害などの自然災害に対応できる人材を育成するため、**日常生活における防災意識の向上**を重視した教育を実践している。

単なる知識の伝達にとどまらず、**実際の災害事例や地域特性に基づくリスク評価**を通じて、学生が自ら考え、行動する力を育むことを教育理念の中核に据えている。

さらに、**地域防災機関や自治体と連携**し、住民への情報発信や避難行動を議論する機会を設けることで、教育活動を通じて**地域社会の防災力向上および持続可能な社会の構築**に貢献することを目指している。

教育の方法・方針

教育理念を実現するため、**知識と体験を統合した学び**を重視している。

1・2 年次には大人数講義で自然災害全般を扱い、幅広い防災意識の涵養を図る。

3 年次以降は「地学実習」「測量・地理情報システム」「土地地質学」などの専門科目を開講し、**計測機器や解析ソフトを実際に操作する体験的学習**を実施することで、現場対応力と課題解決能力を育成している。

また、**課題発表やディスカッションを取り入れたアクティブラーニング**を推進し、学生が自ら考え、他者と協働する力を養っている。

さらに、**講義前後のあいさつや授業中の挙手による自発的発言**を評価に反映させることで、主体的な学習姿勢を育てている。

教育の成果

・高い学生満足度

講義アンケートでは、**100 名を超える大人数講義で 98%の満足度**を獲得。

・学生の主体性向上

防災関連ボランティアを講義内で募集した結果、毎年約 20 名の学生が主体的に参加し、地域貢献意識が向上。

・研究・教育面での顕著な成果

指導学生が学長奨励賞を受賞、ほぼ毎年卒業研究の成果を査読付き学会誌に投稿し、計 10 本掲載、さらに特許取得にも至った。

・社会的評価の獲得

学生が学会で若手優秀者表彰を受け、私も教育・研究活動の質について高く評価された。

・キャリア形成支援

学科就職担当を継続し、企業・自治体との連携強化により関連業界から厚い信頼を獲得。

また、技術士第一次試験や測量士補など国家資格を学生のうちに取得させ、特に 3 年次での早期取得者は就職活動で大きな優位性を得ている。

今後の目標

今後は、教育理念に基づき、防災教育とキャリア形成を一体的に推進する。

具体的には、AI やビッグデータ解析を活用した土砂災害リスク評価演習を導入し、現場対応力と課題解決能力を高める。

また、自治体や企業との協働を拡大し、学生が地域防災活動やハザードマップ作成に参画する機会を増やすことで、社会貢献意識を醸成する。

さらに、国家資格取得支援体制を整備し、3 年次での早期取得を促進して就職活動での競争力を向上させる。

加えて、教育成果を学会や FD 活動を通じて積極的に発信し、教育の質の向上と大学の社会的信頼性強化を図ることで、地域社会の防災力向上に寄与する人材育成を実現したい。

根拠資料

2025 講義アンケート結果

学科 DP・教育目的

シラバス

研究実績、学生の研究成果、資格証、就職実績、社会貢献は下記研究室 HP に詳細を記載

<https://www.big.ous.ac.jp/~sato/>